

# IBM Power E1080の主なパーツ

## Power E1080の外観

### システム・ノード(各5U)

- \* 4台まで拡張可能
- \* I/Oドロワーは1ノードにつき4台まで拡張可能、最大4ノードで16台

### I/O拡張ドロワー(4U)

### システム制御ユニット(2U)



## システム・ノード筐体外観



前面

背面



## DDIMM メモリモジュール

- 信頼性がシステム全体でPower 9の2倍以上向上
- DDIMMのサイズは、32、64、128、256GB
- クラスタリングにより2PBメモリをサポート(今後)

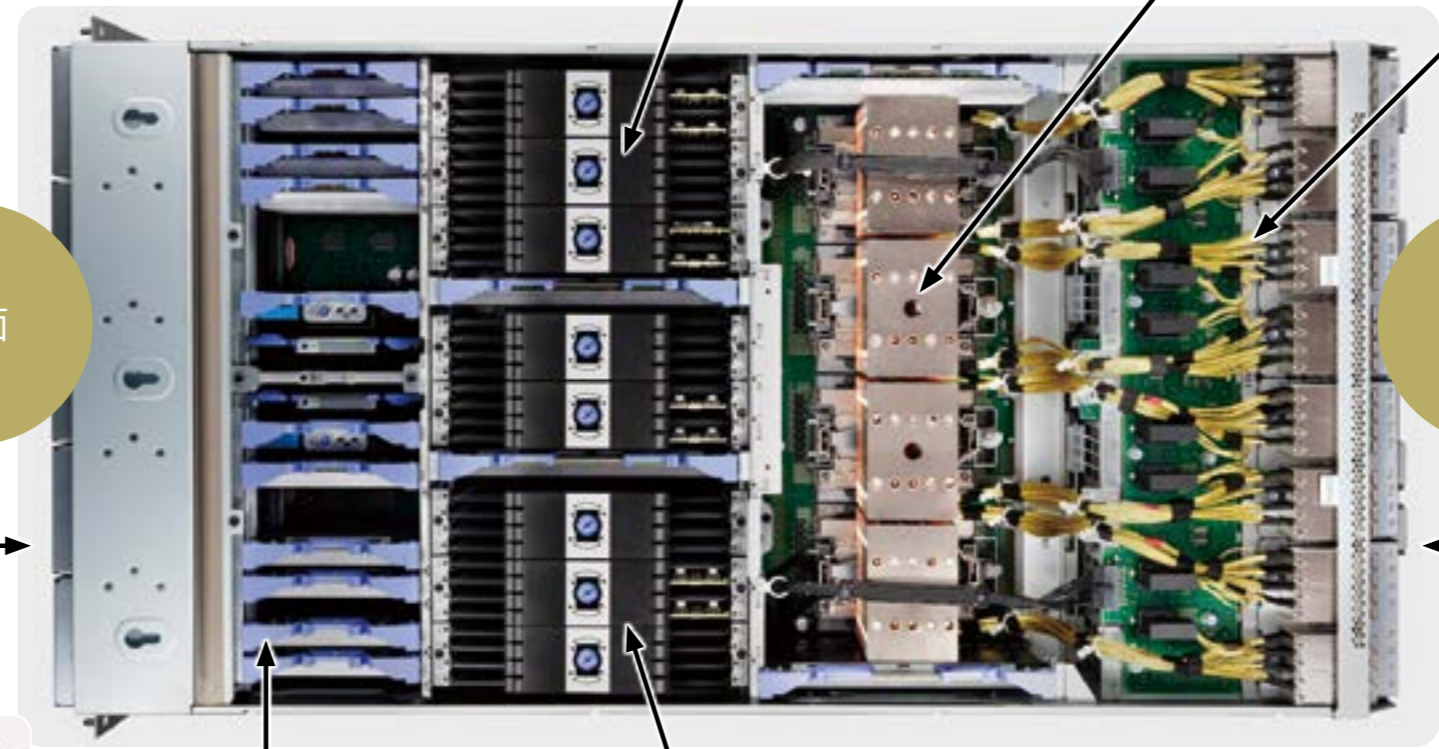
- OMIインターフェース搭載
- チップあたり16チャンネル
- 帯域幅は1TB/s(Power9の4倍以上)
- OMIインターフェースは複数種類のメモリ・モジュールに対応



## Power10チップ

- 1枚の7nm・Power10チップ(シングルモジュール仕様)
- 7nmチップ搭載はエンタープライズサーバーとして初めて
- 1ノードに計4基のPower 10プロセッサを搭載
- 各チップごとに10、12、15個のCPUコアを搭載可能
- 1ノードで最大60コア、システム全体(4ノード)で240コア搭載可能

## プロセッサ間SMP接続ケーブル



## システム・ノードの前面



空冷ファン(計5台)

電源(計4台)  
\*冗長構成

VRM  
(電圧レギュレータ  
モジュール)

DDIMMスロット  
(64スロットある)



PCIe Gen 5  
アダプタースロット  
(計8基)

カートリッジ方式  
電源を落とさずに  
交換可能

電源 FSP接続スロット  
(フレキシブル・サービス・プロセッサ)

他システム・ノードへの  
SMP接続用ソケット(32基)  
\*1ケーブル 32Gb/s  
1つのCPUから8本のケーブルが出る

NVMe対応SSD接続用ドライブ  
(最大4基まで接続可能)

## システム・ノードの背面